

劣後特約付ローンの期限前弁済に関するお知らせ

株式会社レゾナック・ホールディングス（社長：高橋秀仁、以下、当社）は、2020 年 4 月 27 日付で締結した劣後特約付ローン（以下、本劣後ローン）について、2025 年 4 月 28 日をもって期限前弁済することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 期限前弁済の背景

本劣後ローンについては、株式会社日本格付研究所から 50%の資本性が認められるなど、財務体質の改善に寄与してまいりました。

本劣後ローンを調達して以降、当社の長期ビジョンに基づき、成長が期待される半導体・電子材料事業への経営資源の集中や事業ポートフォリオ改革、政策保有株式の売却等を通じた資産のスリム化を通じ、財務体質の改善と収益力の強化を進めてまいりました。その結果、リプレイスメント条項内（※1）の例外規定の基準を充足いたしましたので、今後の企業価値向上に資するために自己資金および借入金調達による期限前弁済を実施いたします。

2. 本劣後ローンの期限前弁済の内容

期限前弁済日	2025 年 4 月 28 日
期限前弁済金額	1,375 億円（※2）
期限前弁済事由	本劣後ローンの期限前弁済条項に基づき、弁済するもの

3. 業績に与える影響

上記一連の取引による当社の 2025 年 12 月期の連結業績予想への影響は軽微であります。

※1 「期限前弁済を行う場合は、既存劣後ローンと同等以上の資本性を有するものと格付機関から承認を得た手段により資金を調達することを意図している」旨の条項。

※2 当初調達額は 2,750 億円。内 1,375 億円については、2024 年 7 月 31 日をもって期限前弁済し、その返済資金に充当するため、2024 年 7 月 31 日付で新たに劣後特約付ローン 1,375 億円を調達済。

以 上

【Resonac（レゾナック）について】

レゾナックは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ機能性化学メーカーです。2023 年 1 月に昭和電工と旧日立化成が統合し、誕生しました。社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistry の「C」の組み合わせです。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2024 年度の売上高は約 1 兆 4 千億円、うち海外売上高が 56%を占め、世界 24 の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2025 年 2 月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

TEL 03-6263-8002